

なみえの未来をともにつくります

 なみえ

議会だより

2008.8.1

No. 121



6月定例会

6月定例議会……………P 2～7
一般質問 10人が登壇……………P 8～13
特集シリーズ
(水道料金と下水道使用料改定の中身)
……………P14～15

◆ 要 旨 ◆

- 平成20年第3回浪江町議会定例会が6月12日～20日までの9日間の会期で開催され、一般質問は10人が登壇して活発な質疑が交わされました。
- 今議会に提案された議案は、水道事業給水条例の一部改正、下水道条例の一部改正、国民健康保険税条例の一部改正など26の議案、議員発議による意見書4件が提案されました。
- 陳情書6件(採択)を審議し、意見書4件を関係機関に提出しました。

条例改正

石綿管更新のための水道料金値上げ

Q 双葉町へ水売って収益があるうちに、なぜ更新しなかったのか

A 拡張工事を優先したためできませんでした

質問 今回の料金値上げで3800万円の増収を図るということですが、資
本
的
収
支
計
画
が
示
さ
れ
て
い
ま
せん。また、なぜ双葉分
水
の
収
益
が
あ
る
う
ち
に
更
新
を
し
な
か
つ
た
の
か。



おいしい水

上下水道課長 料金収入の3000万円を積み立て、年3000万円です。更新期間
は25年で総額20億円の計画です。
双葉分水の収益は建設改良積立金に積み立て、拡張工事を優先したため石綿管の更新ができませんでした。

下水道料金値上げの根拠は

Q 事業を圧縮すれば値上げをしなくても済むのではないかと

A 国基準に合わせて地方交付税措置を受けられるためです

質問 21・9%引き上げて年3800万円の増収を図るより、平成19年度から23年度までの5年間で建設事業費23億2300万円、年4億6500万円の事業を圧縮すれば値上げをしなくても済むのでは。

また検討委員会の答申では20立方メートル2600円ですが、なぜ答申を尊重しないのか。これまでの事業計画にも無理があったのではないかと。

町長 今回の財政計画は元利償還金に対する一般会計からの繰入金を抑制するためです。

この度地方財政健全化法が成立し、特別会計を連結決算することになりました。その結果発生する、赤字の救済措置として国基準の20立方メートル当たり3000円以上になると地方交付税措置を受けられるということです。

右肩上がりの時代背景を考えますと計画に無理があった点は否めません。今後、財政と見合わせながら計画的にゆっくりと事業を進めてまいります。

Q 食育についての取り組みは

A 委員会を立ち上げ推進します

質問 食育の推進計画策定委員会を設置するにあたり、どのような計画か。

子育て健康増進課長

設置要綱を作成し関係課・関係機関・農業協同組合等に依頼し、委員会を立ち上げ食育の重要性をテーマに策定します。

補正予算

Q 土地改良区、広域圏組合事業のチェック体制は

A 専門的な方の意見を聞きチェック体制をとります

質問 大柿ダム送水管

漏水事故に関連して、土地改良区や広域圏組合は負担金として町の税金が使われているが、その事業のチェック機能体制は。

町長

それらの団体の理事者とはいえ、素人なので専門的な方の意見を賜りながら最小限の予算で最大の効果を上げるようチェック体制をとっていきます。

専決処分

Q ふるさと納税への取り組みは

A 県人会等を通じ呼びかけます

質問 条例の一部改正によるふるさと納税改正とあるが、ふるさと納税に対する納税協力を町はどの様に取り組むか。

町長 町のホームページに載せております。

また、そのための発信をどのようにするのか、そしてその使い道は。

そして県人会を通じて協力を呼びかけ、生活保障関係の福祉面に使えるような目的をはっきりとした制度にします。

その他の議案

○ 浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事

委託に関する基本協定（浪江浄化センター）の締結について

契約の目的：浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事委託

施行場所：浪江町公共下水道浪江浄化センター

契約金額：5億1600万円

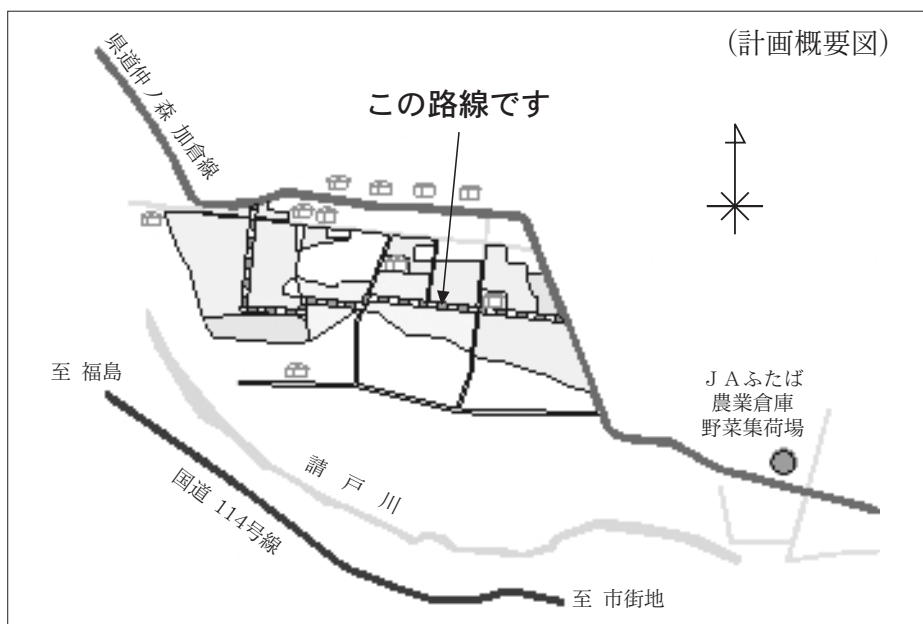
○ 浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事

委託に関する基本協定（幾内中継ポンプ場）の締結について

契約の目的：浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事委託

施行場所：浪江町公共下水道幾内中継ポンプ場

契約金額：8800万円



○ 町営土地改良事業の施行について

目的：農道整備事業

工事場所：立野字原490番先から立野字沢東8番1先まで

工事概要：農道整備事業・延長1080m (幅員5m) 概算事業費：7500万円

浪江町無許可墓地造成分譲調査 特別委員会調査報告書

調査の趣旨

無許可による墓地の造成・分譲に関する調査

調査期間

平成 20 年 4 月 11 日から平成 20 年 6 月 9 日(6 回の委員会開催および現地調査 1 日)

調査の内容と結果

- (1) 調査事項の現状
 - ① 末の森共同墓地の無許可墓地（末の森西前畑 123 - 1 の一部、地目山林）の造成に関しての町の意見書。
 - ② 墓地の許認可権は、県の事務であり許認可に係る「町の意見書」以外は調査できないと判断した。
- (2) 調査事項の問題点と委員会の判断
町の意見書では、「既に墓地が存在し、必要性はあったと推測される」とあるが、これは無許可墓地建設であることに基づき、発出された意見書である。
- (3) 調査事項に対する改善意見
町の意見書が交付されていないままでの墓地の造成・分譲は、適正でない。

同意した人事案件



○紺野 榮重さん
(北幾世橋)

全会一致で次の 4 名の
方々を推薦しました。

農業委員の推薦 について



○畠山熙一郎さん
(権現堂)

教育委員会委員
の任命について
全会一致で同意しました。



○武内八重子さん
(樋渡)



○牛渡富貴子さん
(請戸)



○佐々木恵寿さん
(権現堂)

マリンパークと
いこいの村の決
算状況は

報 告

○(マリンパーク)

財団法人浪江町振興公社
の経営状況報告について

○(いこいの村)

財団法人福島なみえ勤労
福祉事業団の経営状況報
告について

質 問

3年前より地元
産米の提供を要望している
が、現在も隣の市の米を使
用している。

地元産米を使用する考え
はあるのか。

産 業 振 興 課 長

今、地産
地消が叫ばれております。

今後、理事会等で問題提
起してまいります。

皆さんから提出された陳情

〔採択された陳情〕

○「現行保育制度の堅
持・拡充、保育・学
童保育・子育て支援
施策の推進に関わる
国の予算の大幅増額
を求める意見書」提
出の陳情書

〔陳情者〕

福島県保育連絡会

世話人代表者

大宮 勇雄

○保険でより良い歯科
医療の実現を求める
意見書採択に関する
陳情書

〔陳情者〕

福島県保険医協会

理事長 酒井 学

○町営住宅への暴力団
関係者入居等に関す
る陳情書

〔陳情者〕

浪江地区暴力団
排除推進協議会

会長 鈴木 宏孝

○「非核日本宣言」を求
める意見書採択につ
いての陳情

〔陳情者〕

原水爆禁止

福島県協議会

代表理事 斎藤 勝弥

○国による基幹的な農
業水利施設等の着実
な整備を求める意見
書採択に関する陳情

〔陳情者〕

請戸川土地改良区

理事長 馬場 有



○「浪江町議会議員定
数」削減を求める件
について

〔陳情者〕

浪江町草の根自治を進
める会

代表 吉田 忠一
山崎 安男

議員発議 の意見書

○現行保育制度の堅
持・拡充、保育・学
童保育・子育て支援
施策の推進に関わる
国の予算の大幅増額
を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣

少子化対策担当大臣

総務大臣

衆議院議長

参議院議長

○保険でより良い歯科
医療の実現を求める
意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣

衆議院議長

参議院議長

○「非核日本宣言」を求
める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

外務大臣

○国による基幹的な農業
水利施設等の着実な整
備に関する意見書

〔提出先〕

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

内閣官房長官

財務大臣

農林水産大臣

経済財政政策担当大臣

内閣府地方分権改革
推進委員会委員長

議員発議 の決議

○山本幸男君の議員辞
職勧告決議

○浪江町議会議員定数
調査特別委員会設置
に関する決議(案)

皆さんから提出された陳情(採択)に対する議員発議

浪江町議会議員定数調査特別委員会

設置に関する決議(案)は不採択

○「浪江町議会議員定数」削減を求める件について

「議員の数より議員の資質の向上が求められ、行政改革の一翼を担う議員自らが次期選挙に間に合うよう議員定数削減に取組むよう強く要望する」

2494名分の署名を添付

【陳情者】

『浪江町草の根自治を進める会』

代表 吉田 忠一
山崎 安男

【採決の結果】

賛成多数で採択
(賛成17・反対2)

これを受けて

【総務常任委員会

での議論は】

特別委員会設置の委員定数については、議論の方向性や効率的に進める為には、限られた人数で進めるべきである(主員協議会)にその都度報告する事を前提にとの意見や議員の身分に関する問題であるから、議員全員で論議するべきであるとの少数意見もあったが、委員会としての採決の結果は、委員定数を8名にすることを賛成多数で採択しました。

この結果を踏まえて、本会議へ議員発議された「浪江町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議(案)」は不採択

【採決の結果】

賛成少数で不採択
(賛成9・反対10)

不採択となった議員提案の決議内容

浪江町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議(案)

つぎのとおり浪江町議会議員定数調査特別委員会を設置するものとする。

記

1. 名称 浪江町議会議員定数調査特別委員会
2. 設置の根拠 地方自治法第110条及び浪江町議会委員会条例第5条
3. 目的 議会議員定数についての調査のため
4. 委員の定数 8名

動議が成立

山本幸男君の議員辞職勧告決議 賛成多数で可決

提案理由(概要)

無許可墓地造成に関し、本6月定例議会に提出された書類を精査の結果、県相双保健事務所に法令違反を認める始末書を自ら提出していることも判明。

この行為は、私達議員を侮辱し、浪江町議会の信用と信頼を失墜させ、引いては、町民を欺いたことであり許し難い。

速やかに議員を辞職し、町民にその責任を明らかにすることを求めます。

結論

起立による採決結果、賛成多数で可決(賛成11・反対6・退席1)。(議長・副議長を除く)

現在議会が取り組んでいること

- 1、浪江警察署存続について、関係機関に出向いて要望活動を行なっています。
- 2、ハローワーク浪江出張所の存続について、関係機関に出向いて要望活動を行なっています。
- 3、県相双保健福祉事務所の存続について要望活動を行なっています。
- 4、「浪江町議会基本条例」の制定について勉強中です。
- 5、「こどもの権利条例」の制定について、町と協力しながら制定に向けて努力していくこととしました。

実施したこと

- 1、コスモス保育園に看護師の配置について、文教・厚生常任委員会が町当局に要望した結果、現在看護師の配置となりました。
- 2、平成20年度から、費用弁償(日当)の廃止を決めました。
- 3、平成20年度は、月額5000円の政務調査費を受け取らないことを決めました。

第3回定例会の採決状況

議案番号	件名	摘要
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度浪江町一般会計補正予算(第6号))	承認
議案第49号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号))	承認
議案第50号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第3号))	承認
議案第51号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町税条例の一部改正について)	承認
議案第52号	双葉地方土地開発公社定款の変更について	原案可決
議案第53号	双葉地方広域市町村圏組合規約の変更について	原案可決
議案第54号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
議案第55号	町営土地改良事業の施行について	原案可決
議案第56号	学校教育法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第57号	浪江町公告式条例の一部改正について	原案可決
議案第58号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第59号	浪江町手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第60号	浪江町税特別措置条例の一部改正について	原案可決
議案第61号	浪江町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第62号	浪江町下水道条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	浪江町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決

議案番号	件名	摘要
議案第64号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第65号	浪江町水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定(浪江浄化センター)の締結について	原案可決
議案第67号	浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定(幾内中継ポンプ場)の締結について	原案可決
議案第68号	平成20年度浪江町一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第69号	平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第70号	平成20年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第71号	平成20年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第72号	平成20年度浪江町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
報告第1号	財団法人浪江町振興公社の経営状況報告について	報告
報告第2号	財団法人福島なみえ勤労福祉事業団の経営状況報告について	報告
議案第73号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第12号	現行保育制度の堅持・拡充、保育・学童保育・子育て支援施策の推進に関する国の予算の大幅増額を求める意見書(案)	原案可決
議案第13号	保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書(案)	原案可決
議案第14号	「非核日本宣言」を求める意見書(案)	原案可決
議案第15号	国による基幹的な農業水利施設等の着実な整備に関する意見書(案)	原案可決

議員表彰

平成20年度福島県町村議会議長会総会において表彰され、6月12日に開催された第3回定例会冒頭に議長から伝達されました。

○永年(20年以上在職)

町村議会議員として、地方自治の振興発展と住民福祉の向上に尽くされた功績により、山本孝一議員が特別功労者表彰を受けました。

○永年(11年以上在職)

町村議会議員として、郷土の発展に尽瘁し地方自治の振興発展に貢献された功績により、吉田数博議員が自治功労者表彰を受けました。



議案番号	件名	摘要
議案第16号	山本幸男君の議員辞職勧告決議	原案可決
議案第17号	浪江町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議(案)	否決

10 議員が質問

■ 橋爪光雄議員

- (1) 交通事故防止について
- (2) 医療制度について
- (3) 耐震化について

■ 田尻良作議員

- (1) 農業政策について
- (2) 行政について

■ 紺野榮重議員

- (1) 幼稚園と保育所の件
- (2) 学校の空き教室の件
- (3) 国際交流の件
- (4) 後期高齢者の件（医療制度）

■ 吉田数博議員

- (1) 行財政改革について
- (2) 教育行政について
- (3) 生活バス運行事業について

■ 佐々木 茂議員

- (1) 地上デジタル放送への取組について
- (2) アイネットの効用について
- (3) 悪臭防止法の取組について
- (4) 図書購入費等文科省の予算について

■ 渡邊文星議員

- (1) 損害賠償請求住民訴訟事件について
- (2) 補助金のあり方について
- (3) 津波ハザードマップについて

■ 佐々木 英夫議員

- (1) 高齢者虐待防止について
- (2) 渚リフレッシュについて
- (3) 町営住宅入居について

■ 馬場 績議員

- (1) 上下水道料金値上げについて
- (2) 後期高齢者医療制度について
- (3) 介護保険運営について
- (4) 原発震災と安全対策について
- (5) 国道114号線の改良促進について
- (6) 津島保育所新築計画と周辺整備について
- (7) 憲法擁護について

■ 小黒敬三議員

- (1) 地元雇用を創出する為の、ありとあらゆる方策について
- (2) 高瀬地区の歩道及び通学路整備の計画は

■ 山本孝一議員

- (1) 少子高齢化対策について問う
- (2) 室原行政区よりの要望書について
- (3) 常磐自動車道について

町政と問う

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ550字以内に要約しておりますので、ご了承ください。



岩手・宮城内陸地震で破壊した家屋（宮城県栗原市）
6月15日付 福島民報



橋爪 光雄 議員

Q 自然災害に強い街づくりを

A 「耐震改修促進計画」を策定、 安心・安全の街づくりを推進

負担は、現行の3割程度から1割程度となる。耐震診断の結果の公表も義務付ける方針。当町の公共施設・一般住宅の耐震診断を含め耐震化の実態と今後の耐震化推進計画は。

町長 本年度に「浪江町耐震改修促進計画」を策定し、安心して安全に暮ら

改善で安心の制度に

質問 老人保健医療費の実態と新制度の相談対応と国県への対応は。

保険福祉課長

平成19年度老人医療費は3月31日現在、加入者1967名。医療費19億7255万9千円。相談件数251件。福島県後期高齢者医療広域連合が、厚生労働省に対して、低所得者の保険料の軽減等被保険者個人の所得で決定するよう要請しています。

住民生活課長

浪江地区交通安全協会等と協議し、既に導入している事例を調査します。

交通弱者対策の強化

質問 高齢者が運転し

は、国が約67%、県約17%、地元約16%です。とを考えています。提案には前向きに検討します。



田尻 良作 議員

農業政策について

質問 米1俵60kgの農家販売価格と生産費の実態は。

産業振興課長 平成17年産農家販売価格は1万3683円、生産費は1万4721円。平成18年産農家販売価格は1万3354円、生産費は1万5132円。

Q 原油価格高騰問題にどのように取り組む

A 各補助金、制度資金利用の相談窓口を役場に設置

平成19年産の概算金は1万円、追加支払い1千円。最終価格の決定は今年の12月頃の予定です。

質問 この販売価格と生産費に町行政は問題意識はないのか。国、関係機関への働きかけは。

産業振興課長 販売価格が生産価格を下回るのは非常に問題だと認識している。

原因として需要と供給の問題がある。生産調整への協力的体制づくりというものが大切だと考えます。

質問 原油価格の高騰で農産物生産資材が値上り生産コストに影響がでている。支援策は。

産業振興課長 昨年12月に浪江町原油価格高騰対策推進本部を設置し、原油高

大柿ダム改修工事

質問 大柿ダム大規模改修工事が計画されています。内容について伺います。

産業振興課長 供給開始20年を経過し、近年漏水事故等により、たびたび通水が遮断される支障をきたしています。結果、約59億円の事業費で改修工事を行うものです。事業費負担割合

まちづくり意見交換会

質問 行政と住民の相互理解を深めるために、住民参加の町政を目指すのが町政懇談会の目的です。肩のこらない車座方式での意見交換会を提案する。

町長 まちづくりの基本は、町民が主体となり、行政は常に町民と一体となり汗を流しながら共同社会づくりをしていくのが基本



生産費に見合う販売価格が求められる米価



元気に朗読しています



紺野 榮重 議員

公立幼稚園、保育所の再編の考え方

質問 今後の子供の数、推移について伺います。

企画調整課長 出生率が年々減少している状況から、幼稚園入園者数の減少は避けられません。

質問 公立幼稚園、保育所の再編について考えを聞きたい。

教育総務課長 総合審議会に諮問して答申の内容を踏まえて進めていきます。

質問 預かり保育の要望（父兄から）について考えを聞きたい。

教育総務課長 幼稚園の運営基準で1日の教育基準

A Q

国際交流10年の中で大人の交流は見直す時期ではないか
方向性としては、子供の交流を中心に考えていきたい

は4時間、年間39週以上の教育を行うという基準で運用しています。

国際交流の成果はあるのか

質問 国際交流の成果の説明を求めます。

企画調整課長 お互いに文化や風習の違いを理解することができました。

質問 訪問団の受け入れがホームステイでなく、浪江いこいの村になった理由の説明を求めます。

企画調整課長 町民の皆様にご来日する生徒より少ないため、施設の利用になりました。

質問 今後の国際交流の位置づけについて考えを聞きたい。

町長 国際交流協会は任意団体ですので、独立性、自主性の中で活動していきたい。

後期高齢者について

質問 この制度の目的について説明を求めます。

保険福祉課長 今後の医療費の伸びが予想されるので、現役世代と高齢者の負担を明確化し、公平化する必要があるためです。

質問 後期高齢者医療保険の所得区分について説明を求めます。

保険福祉課長 保険料7割軽減1246名、5割軽減98名、2割軽減65名、基本額1040名、保険料総額では約6100万円の見込みです。

質問 困っている方の町としての対応は。

保険福祉課長 特に所得の低い世帯の方については、被保険者及び世帯主の所得に応じて均等割額が軽減されます。所得に応じて7割・5割・2割の軽減があります。



吉田 数博 議員

行財政改革の進捗を問う

質問 集中改革プラン策定から2年が経過、基本方針に対し自治体の経営能力向上、自治意識の高揚、職員意識改革の視点からどの様な変化があるのか。

窓口業務の延長、ホームページによる要望への取り組み、公用車の管理のあり方、指定管理者制度の取り組み、町職員の定員管理のあり方について問う。

町長 効率的、効果的かつ有効であり、無駄の無い予算執行を心がけ町民の目線で精査を行っています。今後機能性を持った組織を再構築し、スピード感をもって取り組みます。

総務課長 窓口対応は平日の夜間延長、休日の開庁を検討中であり、ホームページの対応も大変重要と認識、公用車はリース方式

A Q

行財政改革の取り組みは、スピードアップを図るべき
平成22年度を目標に改革を進め、町民サービスの向上を図ります

等に対応を進めます。指定管理者制度は検討委員会を立ち上げ推進を図り、町職員の定数は計画に基づき、平成22年度末で183名とする予定であります。民間委託等を含めた対策を急ぎ、町民サービスの低下がない様に努めます。

教員の健康管理を

質問 公立小中学校の病気休職中の教師の現状とその対策は。

教育総務課長 当町の教職員の精神疾患の休職者は1名です。教育環境の悪化が原因の一つかと思われ、その対策を急ぎます。

生活路線バスを守れ

質問 福島交通の会社更生法適用申請を受け、浪江二本松線バスの存廃が問題化すると思われ。浪江高津島分校の存廃と連動する側面もありその対策を問う。

住民生活課長 バス路線の維持は中山間地域にとって、生活に関わる切実な問題なので県や関係市町村と連携を図り適切に対応してまいります。



この笑顔のために今為すべき事を



安全・安心のため早急な整備が望まれる
【津波発生時の一時避難所（大平山）】



佐々木 茂 議員

地上デジタルについて

質問 地上デジタル放送が3年後完全実施となっているがその対策は。

企画調整課長 総務省が完全実施に向けて取り組んでいるが、国の負担等はずきりしておりません。骨子によると低所得者や交換器購入

Q 養豚場などの公害防止対策として悪臭防止法の適用は

A 来年度に規制地域の見直しがあり実施に向け取り組みます

を支援するとなっている。

質問 津島地域はUHF方式ではなくVHF方式となっている。その対応は。

企画調整課長 現在、早期対策として津島と葛尾地区を含めてUHF中継基地の設置を計画している。

質問 中山間地域は高齢者も多く組合や個人でT

Vアンテナの維持管理を行っている。広域的に負担がなく維持できるように支援すべき。

企画調整課長 国の動向を含め、知恵を出して負担をできるだけ少ないよう全力で取り組みます。

質問 水力発電所に対する電源立地交付金は立地

地域や中山間地区、更に緊急性のある時に優先して使われるべき。
企画調整課長 今後の検討課題といたします。

悪臭防止法への取り組みについて

質問 養豚場の臭いについての質問は4回目となりますが、臭いは未だに止まりません。その対策は。

住民生活課長 迷惑防止の対策と事業者へ定期的な指導を行っています。



渡邊文星 議員

Q 津波ハザードマップ(ソフト面)は整備されたが、今後のソフト・ハード面の整備は如何に

A 財政と実施計画の整合性を図り年次別に整備します

質問 障がい者等の災害弱者の方の避難計画や訓練のあり方は。

住民生活課長 本年9月の総合防災訓練に向け、計画の素案がまとまり次第、地元行政区・関係団体と協議します。

質問 地元住民からのハード面(一時避難所や避

難道等)の要望事項は、それを受けた町の整備計画は。

住民生活課長 本年度は、避難経路の案内標識の設置、一時避難所進入路等の整備を行う予定です。また、避難路・街路灯・避難所進入路の橋梁幅・水道・トイレ、雨・風をしのげる

施設整備計画促進の署名活

損害賠償請求住民訴訟事件のその後の推移は

質問 任意団体の区長

会が行った、介護老人保健施設整備計画促進の署名活

高校や大学の入学時の支援金の拡充について

質問 所得格差が進み進学に困難をきたしている。子供の将来のために支援策は。

教育総務課長 奨学金制度や各大学の助成制度を研究し情報を提供する。



2011年までに、すべての世帯で地デジ放送の視聴が可能とされています

動に行政側が本当に一切関与しなかったのか。

総務課長 一連の流れから関与したと認識している。これらの案件で事務処理

上、色々行き違いがあり、大変申し訳なく思っています。今後は、今までの反省

を踏まえ、行政運営上、町民に誤解を与えないよう事務処理を進めます。

質問 区長会長名で医師会会員に出した文書について、区長会副会長は、裁判の証人陳述で、「つくる

会)の百姓の親父さんが「つくる会」の会長にも無断で区長会長名を勝手に使ったことと陳述している。

再発防止と行政の監督責任として、誰が作成し、その目的は何であったのか明確にする考えはあるか。

総務課長 現段階では、調査する考えはない。しかし、区長会長の意向を確認の上、区長会理事会において協議するよう要請いたします。



佐々木英夫 議員

Q 高齢者虐待防止法は知られているか
A 町・社会福祉協議会で広報活動に努めます



馬場 績 議員

Q 上・下水道料金的大幅値上げは町民生活に打撃
A 町民の理解を得るよう努めます

質問 高齢者虐待防止法について、町はいち速く

取り組みましたがその成果はあったのか、また訴えはあったのか。

保険福祉課長 平成18年

4月より高齢者虐待防止擁護者支援法が施行されて防止法ネットワーク運営委員会を立ち上げ、虐待かどう

か不明ですが、相談件数が7件ありました。

質問 お年寄りが、虐待防止法の法律を知らないと思うので、今後どう知らせるのか。

保険福祉課長 テレビ・新聞で報道されたが、未だ理解度において浸透してない

と思われまので、町及び社会福祉協議会を通し、活動して行きたい考えです。

質問 渚りフレッシュの成果はあったのか。

建設課長 人工リーフのもつ波浪・漂砂制御効果により、高波に対して高い保

全効果を発揮してると思いますが。

質問 渚とは、波打ち

際をいい、リフレッシュは、体や心をさわやかにする、爽快な気分を起させる、これが渚りフレッシュだ。渚りフレッシュは出来上がったのか。

町長 国土交通省の事業ですが、指摘されたように、こんな形でなく、素晴らしい海岸にしたいと言うことで国・県に要望したいと考えます。

建設課長 調査をし、町としても県に対処方法を研究してもらう様、要望して行きます。

質問 町営住宅入居について、入居順位はどの様に決定するのか。

総務課長 条例に定める入居のある方について、申込み順に受け付けています。

質問 申し込みは3ヶ月有効となってるが、3ヶ月間の申し込み数があれば、その数で抽選するのが公正ではないか。

総務課長 検討させて戴きます。

質問 保証人の収入はいくらあれば良いのか。

総務課長 入居者の収入額を決定して、家賃の算定をし、その収入と同程度、若しくは裏づけとして、それよりも上があればいいと言うような解釈になるかと考えております。



入居者選定方法が問われている

一般家庭1ヶ月平均12200円の負担増

質問 今度の値上げは

上水道で年間3700万円。下水道では2500万円もの値上げ。一般家庭の月平均の値上げはいくらか。

上下水道課長 平均使用量は月22立方メートル。水道が月3540円、下水道3320円で計6860円。1ヶ月の負担増が1220円になります。

質問 双葉町への分水ストップは分っていたこと。石綿管更新に20億というがなぜ計画的に進めてこなかったのか。

上下水道課長 給水未整備地区の工事優先や、114号線等改良工事関連に回し更新が遅れてきました。

質問 下水道事業の負債45億5000万円(18年度決算)。一部借換えをすれば町の負担軽減は10年間で2

億円では料金値上げによる町民の負担増はいくらか。

上下水道課長 10年間で2億5000万円です。

後期高齢者医療—浪江町の混乱は

質問 75歳以上は「末期高齢者」と言わんばかりの制度で、医療保険に対するあり方が問われている。混乱の実態は。

保険福祉課長 4月1日以降の問い合わせは251

件。保険証再交付8件、還付8件などです。

津島保育所の新築と周辺整備計画は

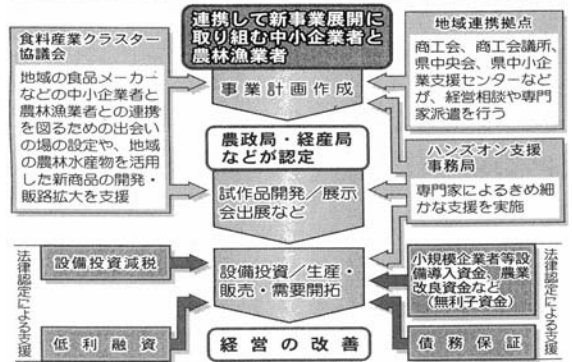
質問 ①保育所本体の着工計画は。②国道沿線の歩道設置計画は。

子育て健康増進課長 ①本体は21年度に着工予定、敷地造成は近々に着工予定。

建設課長 ②保育所が開設するまでは整備するとの回答がありました。



歩道設置の回答があった津島保育所建設予定地周辺



国の予算を活用するため
知恵を絞り出せ



黒川 敬三 議員

Q 地元雇用創出の対策を急げ

質問 商工会より平成17年に要望された、地元材や町内建設業者を利用したとき、建て主への奨励金制度の実行はどうなったか。

産業振興課長 数千万円の予算が必要で見送られま

Q 地元雇用を創出するためプロの職員を育てよ
A 意識改革のための研修を行います

した。今後商工会と話し合っていく。

質問 地元の産業の育成をどう図ってゆくか。

産業振興課長 地元産業界、商店街等と検討しながら、町の持っている情報を関係各課と協議しながら提供します。

再生戦略の目玉として、中小企業と農工商との連携を促進するために、農工商連携促進法案を作り、予算は関連を含めて250億9000万円です。これを活用する鍵は両者をつなぐ行政だと言われていますが。

ます。

質問 企業立地資金貸付制度の原資の一部は電源立地地域対策交付金で、県は双葉地方に対し企業誘致に積極的に協力する義務があるが、得られているか。

町長 5月に県の東京事務所に行き、物件を町のほうに発信すると言う話を得てきました。

質問 東北電力へのトップセールスは。

町長 2月15日に電力本社で、高橋社長と齋藤副社長で会談を持ち積極的な

内容でした。4月4日には齋藤副社長が来庁したときに原発推進と子会社の企業進出を要請しました。

歩道及び通学路整備の計画は

質問 県道落合浪江線の丈六付近と浪江双葉線の未整備部の計画は。

建設課長 落合浪江線については、20・21年度で用地補償、22年度に着工予定です。浪江双葉線については、現地調査をして検討します。



山本 孝一 議員

Q 高速道開通で室原に歩道設置を安全のため右折レーン・歩道設置を強く県に要望します

質問 インターを含め町の負担金は。

建設課長 町道・林道・構造物全体42ヶ所で3億582万円です。

教育総務課長 基本的に募集停止。町は検討委員会を立ち上げ、津島地域の特殊性をアピールし、存続を要望していきます。

質問 70歳以上の独居老人は何人か。対策は。

健康福祉課長 アイネットが友愛訪問を行い老人クラブ・民生委員と情報交換しております。的確な判断

で高齢者福祉に努めております。

行政区の要望は

質問 北部衛生センター最終埋立処分場の環境汚染に対する一抹の不安を抱きながら公共施設の認識で理解と協力を行ってきま

した。長年に亘る協力に報

いるため若干のご負担をお願いしたいのですが。町長の考えは。

町長 広域圏組合にとってもありがたいと思っております。八ヶ町村それぞれ協力しながら組合を作っております。この地域一ヶ所に補償となると同意は難しいと思います。

質問 埋立処分場が5月20日付で廃止の許可が

でたと聞いたが、平成元年災害の廃棄物や未処理の大量のゴミが埋立てられ、今後汚染物質が出る可能性があると思われるのでその対

策は。
住民生活課長 埋立処分場のダイオキシンとかの測

定分析結果において、いずれも基準値以内ということでありませう。



求められる右折レーンと歩道

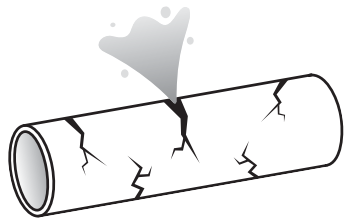
水道料金と下水道使用料改定の中身

料金改定の内容は町広報を見て下さい。議会報では可決に至った論点について要約します。

水道料金値上げの大きな2つの理由

1、石綿セメント管を入替るための財源にするためです。

☆町の水道管の長さは189・6kmあり、その



うち石綿管の長さは41・5kmで、全体の21・8%を占めます。

この石綿管は水道事業が始まって最初に使われた管でたいへん痛んでおり、漏水がたびたび起きるため、あまり水压をかけられませんが、そのため漏水による水のむだや、水压の低い地域があります。

2、双葉町に売っていた水が売れなくなり、収入が無くなってしまいました。

☆木戸ダムの水を利用して、櫛葉、広野、富岡、

大熊、双葉町で作る双葉地方水道企業団の給水が始まり、双葉町では浪江の水がいらなくなりまし。町では良質な水に恵まれていたため、多額の投資が必要な企業団にはまぎらな

かった。

そのため、約4000万円/年の売り上げがなくなりました。



双葉町で、当町の水が必要なくなりました。

値上げしたお金の使いみち

値上げで、約3000万円/年の収入となり、その分で漏水の多い内径75%の管から順に入替をする計画です。

水道工事をする時にかかる手数料なども値上げとなります

☆水道の普及率は平成18年度末で96・2%です

が、周辺部や住宅の点在している所など現在10地区より水道管の布設を要望されています。これらの未給水地区を解消するというのが

議会での討論

理由です。値上げで約1000万円/年の収入となり、それを元にして拡張工事をする計画です。(津島地区等を除く)

◆反対：なぜ双葉分水の売上げのあるうちに計画的に更新をしなかったのか。料金値上げによる計画は認められない。

◇賛成：町民への負担は大変ですが、供給エリアの拡大と住民サービスの急ることはできません。放置すればさらなる負担につながるためやむをえない。

(賛成多数で可決)

下水道使用料値上げの理由

★2つの大きな理由と本質的な動機

○1番目の理由は地方財政健全化法が成立し、(夕張ショックで国の会計基準が変わった)今まで別にしてきた下水道会計も一緒にすることになった結果、実質公債費比率(借金)が下水道で5%押し上げて19・3%^(注)になつてしまった。

○2番目の理由は国の救済策として、国基準額の20m²で3000円にすれば、交付税措置で3500万円/年もらえるということと、値上げをした分、一般会計からの繰入が少なくなるということです。

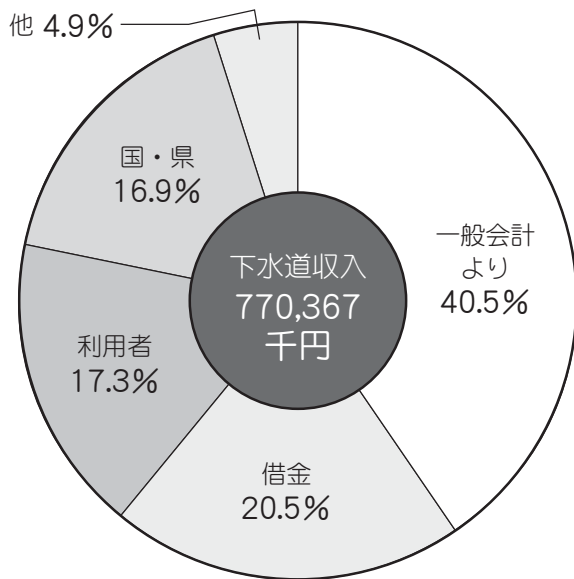
本質的な勘違い

左のグラフより、利用者が払うお金は収入の17・3%で、あとは、他からのやりくりです。

そもそも採算の合う事業ではなく、国が面倒を見るから生活や自然環境対策をしっかりとしないよという社会基盤整備の住民サービス事業です。

公共工事依存の地方に

とっては、道路と並ぶこの事業にのつかって、最終的に国の財政が立ち行かなくなり、当てがはずれてしまったというのが本質です。今後、受益者の町民と事業主体の町でどうなるか力量が試されているといえましょう。



下水道収入グラフ

(一)平成18年度 決算資料より

議会の討論

◆**反対**：下水道事業の全体計画の見直しはまだ不十分で、建設投資の圧縮や合併処理浄化槽を利用すれば値上げをしなくてもすみます。基本的に、値上げだけが残り問題の解決になっていない。

◇**賛成**：17年間手を打ってこなかった点は反省すべきだが、一般会計からの繰入金抑制と健全経営することも大事で、標準的な金額まで引き上げるのはやむを得ません。今回の議論で事業の見直しがされれば良し。
(賛成多数で可決)

※**注**：実質公債費比率（借金の経費の割合）18%以内が望ましく、18%以上の町は町債の発行に許可が必要となります。

議会活動の近況

5月		6月		7月	
8日	100条調査特別委員会	2日	広域圏・消防厚生常任委員会	15日	議会運営委員会
13日	産業・建設常任委員会	3日	県町村議会議長会定期総会	16日	議会報編集特別委員会
14日	文教・厚生常任委員会	9日	議会運営委員会	22日	議会報編集特別委員会
15日	議会運営委員会	9日	100条調査特別委員会		
16日	100条調査特別委員会	12~20日	第3回定例議会		
19日	広域圏・消防厚生常任委員会	26~27日	議会運営委員会視察研修(北海道栗山町)		
19日	全員協議会	30~7月2日	総務常任委員会視察研修(秋田県美郷町外)		
20~22日	産業・建設常任委員会視察研修(岐阜県多治見市外)				
22日	広域圏・総務常任委員会				
26日	100条調査特別委員会				
26日	広域圏・議会運営委員会				
28日	広域圏・定例議会				
29~31日	文教・厚生常任委員会視察研修(宮崎県都城市外)				

お詫びと訂正

「5月1日発行の120号」で、次の間違いがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。

10頁、橋爪光雄議員の一般質問、最初の見出し「**万全な健康体制を**」ではなく「**万全な健診体制を**」でした。



傍聴人インタビュー



6月議会傍聴人：延べ人数 41人
気軽に傍聴してください。

「絵に描いたモチ」でない本物の町政を



根本 洋子 さん
(荻 宿)

1 傍聴のきっかけは？

浪江磐青の会(女性団体)の事業の一環として議会傍聴があります。良い機会です。傍聴しました。町政に不平・不満をもつ前に町民としてみんなで選んだ議員さんの活動を知る事も大切かと。

2 傍聴された感想はどうでしたか？

マラソンのオリンピック代表になった本県出身の佐藤敦之選手は、競技場に一礼して入・退場する品性ある姿に好感をもたれていきます。デジタル婆さんの見方をすると、他の議員が質問したり、担当者が答弁している最中、席を立つ(トイレ?)人は、一礼するぐらいの気持で出入りすれば信頼感が高まるのでは……。

3 議員に対する要望がいまあるか？

住民として納得出来る町政を。私の家には上下水道も通ってません。それでも同じく町税を払ってます。町民として「格差」のない暮らしをしたいものです。上下水道の値上げについて質問がなされましたが、基本的な生活必需のものは値上げしてほしくありません。

4 議会や町政に対する要望がありますか？

他町村にない浪江独自のカラーを打ち出して、これぞ浪江というスタンスを示してほしい。議会傍聴の呼びかけとしては(防災放送で)どうか。町民の「目」と「耳」を感じての活動を期待します。

編集後記



今年は空梅雨の様相なのに例年にも増してあじさいの色はあやかです。世界的にサイクロンや中国の大地震等、天変地異の恐ろしさを感じていたところに、身近な東北にも大被害が起きました。日頃の予防が大事と言われても、想像を絶する災害には無力さを感じます。今、「地域力」と称して絆を取り戻そうと、震災後の新潟の人達からその大切さが発信されています。とても大事なことだと思えます。

さて本議会は人事案件も可決され、それぞれの活躍が期待されます。私達議員も町民の方々の目線に立ってしっかりと声を出して行きたいと思えます。(記・泉田 重章)

議長 山本幸男
委員 長 小黒敬三
委員 長 泉田重章
副委員長 佐藤一男
委員 横山精一
委員 渡邊文星
委員 紺野榮重

121号
表紙より

みんながまっていた、海びらき

表紙用写真を募集

町の話題・人物・季節感のあるもの。
ぜひ、お寄せください。

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構です。お声をお寄せ下さい。